

日本化学会 第99春季年会

産業界からも積極的に参加を

融合こそイノベーションの礎

日本化学会の第99春季年会が3月16日(土)から19日(火)の4日間、兵庫県神戸市の甲南大学・岡本キャンパスで開催される。わが国の化学および化学産業のすべての分野を網羅する5148件の発表が予定され、基礎から先端までの最新情報に触れる得難い機会となる。来場者は約8000人が見込まれている。春季年会は、産学連携のアドバンス・テクノロジー・プログラム(ATP)のより一層の充実、英語化の推進など国際化、領域を越えたコラボレーションなどを積極的に進めている。日本化学会の川合眞紀会長、近藤輝幸 第99春季年会実行委員長、長坂悦敬 甲南大学長に甲南大学が集まっている。春季年会の意義、基礎・応用研究のあり方、産業界との連携、若手への期待などを語ってもらった。

産と学の「二人三脚」で走ろう



川合 眞紀
日本化学会会長
(分子科学研究所長)

学園100周年の節目に

近藤 日本化学会第99春季年会の開催をお受けいただき、まず、甲南大学様に感謝申し上げます。甲南大学様には、既に2019年にお話になったこととなります。18年ぶりの開催ということになります。長坂大学長は、甲南大学のご紹介をお願いできますでしょうか。

物理学会と二元中継

川合 九州大学で同時期に開催される日本物理学会と二元中継を行います。2019年は、元素周期表をトリ・メンテレーエフを記念して、国連ユネスコが2009年を「国際物理年」と定めました。そして日本化学会と日本物理学会の春季年会的日程が偶然重なり、二元中継のホストを兼ねることが実現しました。二ホストを兼ねた森田浩介教授にも講演していただきます。

注目度高い「ATP」

近藤 さて、第99春季年会では約8000人の参加者を見込んでいます。その内容ですが、アカデミックプログラム(ATP)として約30の部門があります。それから、特別企画やコラボ企画、中長期シボシボム、アドバンス・テクノロジープログラム(ATP)など多彩な企画があります。企画は全体で60以上あり、盛を期待しています。なかでもATPは、産業界のニーズと春季年会で発表されるシーズとの出会い、さらにイノベーション創出の促進を目指しており、毎年注目を集めています。第99春季年会では、社会を支える基礎技術「サステナブル社会構築のためのエネルギー」化学ヘルスケア革新技術「の3テーマに加え、シボシボプログラム「産学官連携の新しいカタチ」と題して、産学官連携の新しい「共創」をコンセプトとする新しいセッションを企画しました。各セッションでは、IoTやAI、インフォマティクス、有機系太陽電池、医療・ライフサイエンス材料などのプログラムが揃っています。

新分野参入の「橋渡し」役を担う



近藤 輝幸
実行委員長
(京都大学教授)

基礎の力と感性で変化に対応



長坂 悦敬
甲南大学学長

川合

川合 このような学会の枠を越えた共同企画も、今後どんどん入れていきたいと思っています。

近藤

近藤 はい、A講演(講演時間7分)については、初心者の口頭発表もありまして、特に英語を講義する分とは異なりますが、B講演(同15分)に関しては英語化を強く促しています。

川合

川合 はい、A講演(講演時間7分)については、初心者の口頭発表もありまして、特に英語を講義する分とは異なりますが、B講演(同15分)に関しては英語化を強く促しています。

近藤

近藤 はい、A講演(講演時間7分)については、初心者の口頭発表もありまして、特に英語を講義する分とは異なりますが、B講演(同15分)に関しては英語化を強く促しています。



会場となる甲南大学・岡本キャンパスの1号館

前々度ワロウロウしながら、何回も繰り返して練習していたことを今でも鮮明に覚えております。

「機会」を与えることが大事だとおっしゃっています。学友自身の意思で一歩前に踏み出すことには、背中をちょっとだけ押しやるという。そうすると、びっくりするくらい学生が動いてくれるとありまして、それから、感性がそこ大事です。若いときに感性を磨くべきです。基礎力が感性があれば、どんな時代、どんな変化にも対応しているのではないのでしょうか。

最後のテーマは、化学業界と産業界との関係です。私からお話しますが、いま元気なのは化学関連の企業とみえています。そして化学企業は多岐にわたります。その中でも、医療分野に定めているところが多いのは、なかなか手を出せない分野でもあります。そのため、例えば、大学内に寄附講座を設置すること、学内外の複数の機関と連携すること、当初の目標を実現するといった流れが既に始まっています。私自身も医療分野への参入を目指す化学企業と共同研究を行っています。私の考えは、大学として日本化学会は、極めて立派な立場にあるため、企業がこれまで経験のない新しい研究分野に参入する際、「橋渡し」の役割を担えると考えています。さらに「オープンイノベーション」の体制構築こそ、大学および日本化学会が産業界を支援する一つの重要な方法であると考えています。

「機会」を与えることが大事だとおっしゃっています。学友自身の意思で一歩前に踏み出すことには、背中をちょっとだけ押しやるという。そうすると、びっくりするくらい学生が動いてくれるとありまして、それから、感性がそこ大事です。若いときに感性を磨くべきです。基礎力が感性があれば、どんな時代、どんな変化にも対応しているのではないのでしょうか。

産業界はかなりの多額の資金を研究に投資しています。その投資に見合う成果を出し得る、学術の世界から力を貸すことができれば、それこそ私達の本望ではないでしょうか。そういう意識

「彼らに対するメッセージ」といって、うまい、とにかくマスを少なからぬことを、最近、私は自問自答しています。近年、高齢者も元気ですから、その豊かな知識を様々な形で、若い人たちのサポートに使えないでしょうか。それはすごい戦力です。また、女性の活用と高齢者の活用を若い人の育成とのセットとして進めたい、若い人たちは気の毒な気がします。

「彼らに対するメッセージ」といって、うまい、とにかくマスを少なからぬことを、最近、私は自問自答しています。近年、高齢者も元気ですから、その豊かな知識を様々な形で、若い人たちのサポートに使えないでしょうか。それはすごい戦力です。また、女性の活用と高齢者の活用を若い人の育成とのセットとして進めたい、若い人たちは気の毒な気がします。

「彼らに対するメッセージ」といって、うまい、とにかくマスを少なからぬことを、最近、私は自問自答しています。近年、高齢者も元気ですから、その豊かな知識を様々な形で、若い人たちのサポートに使えないでしょうか。それはすごい戦力です。また、女性の活用と高齢者の活用を若い人の育成とのセットとして進めたい、若い人たちは気の毒な気がします。

「機会」を与えることが大事だとおっしゃっています。学友自身の意思で一歩前に踏み出すことには、背中をちょっとだけ押しやるという。そうすると、びっくりするくらい学生が動いてくれるとありまして、それから、感性がそこ大事です。若いときに感性を磨くべきです。基礎力が感性があれば、どんな時代、どんな変化にも対応しているのではないのでしょうか。

「彼らに対するメッセージ」といって、うまい、とにかくマスを少なからぬことを、最近、私は自問自答しています。近年、高齢者も元気ですから、その豊かな知識を様々な形で、若い人たちのサポートに使えないでしょうか。それはすごい戦力です。また、女性の活用と高齢者の活用を若い人の育成とのセットとして進めたい、若い人たちは気の毒な気がします。

「彼らに対するメッセージ」といって、うまい、とにかくマスを少なからぬことを、最近、私は自問自答しています。近年、高齢者も元気ですから、その豊かな知識を様々な形で、若い人たちのサポートに使えないでしょうか。それはすごい戦力です。また、女性の活用と高齢者の活用を若い人の育成とのセットとして進めたい、若い人たちは気の毒な気がします。

「彼らに対するメッセージ」といって、うまい、とにかくマスを少なからぬことを、最近、私は自問自答しています。近年、高齢者も元気ですから、その豊かな知識を様々な形で、若い人たちのサポートに使えないでしょうか。それはすごい戦力です。また、女性の活用と高齢者の活用を若い人の育成とのセットとして進めたい、若い人たちは気の毒な気がします。

「機会」を与えることが大事だとおっしゃっています。学友自身の意思で一歩前に踏み出すことには、背中をちょっとだけ押しやるという。そうすると、びっくりするくらい学生が動いてくれるとありまして、それから、感性がそこ大事です。若いときに感性を磨くべきです。基礎力が感性があれば、どんな時代、どんな変化にも対応しているのではないのでしょうか。

「彼らに対するメッセージ」といって、うまい、とにかくマスを少なからぬことを、最近、私は自問自答しています。近年、高齢者も元気ですから、その豊かな知識を様々な形で、若い人たちのサポートに使えないでしょうか。それはすごい戦力です。また、女性の活用と高齢者の活用を若い人の育成とのセットとして進めたい、若い人たちは気の毒な気がします。

「彼らに対するメッセージ」といって、うまい、とにかくマスを少なからぬことを、最近、私は自問自答しています。近年、高齢者も元気ですから、その豊かな知識を様々な形で、若い人たちのサポートに使えないでしょうか。それはすごい戦力です。また、女性の活用と高齢者の活用を若い人の育成とのセットとして進めたい、若い人たちは気の毒な気がします。

「彼らに対するメッセージ」といって、うまい、とにかくマスを少なからぬことを、最近、私は自問自答しています。近年、高齢者も元気ですから、その豊かな知識を様々な形で、若い人たちのサポートに使えないでしょうか。それはすごい戦力です。また、女性の活用と高齢者の活用を若い人の育成とのセットとして進めたい、若い人たちは気の毒な気がします。

「機会」を与えることが大事だとおっしゃっています。学友自身の意思で一歩前に踏み出すことには、背中をちょっとだけ押しやるという。そうすると、びっくりするくらい学生が動いてくれるとありまして、それから、感性がそこ大事です。若いときに感性を磨くべきです。基礎力が感性があれば、どんな時代、どんな変化にも対応しているのではないのでしょうか。

「彼らに対するメッセージ」といって、うまい、とにかくマスを少なからぬことを、最近、私は自問自答しています。近年、高齢者も元気ですから、その豊かな知識を様々な形で、若い人たちのサポートに使えないでしょうか。それはすごい戦力です。また、女性の活用と高齢者の活用を若い人の育成とのセットとして進めたい、若い人たちは気の毒な気がします。

「彼らに対するメッセージ」といって、うまい、とにかくマスを少なからぬことを、最近、私は自問自答しています。近年、高齢者も元気ですから、その豊かな知識を様々な形で、若い人たちのサポートに使えないでしょうか。それはすごい戦力です。また、女性の活用と高齢者の活用を若い人の育成とのセットとして進めたい、若い人たちは気の毒な気がします。

「彼らに対するメッセージ」といって、うまい、とにかくマスを少なからぬことを、最近、私は自問自答しています。近年、高齢者も元気ですから、その豊かな知識を様々な形で、若い人たちのサポートに使えないでしょうか。それはすごい戦力です。また、女性の活用と高齢者の活用を若い人の育成とのセットとして進めたい、若い人たちは気の毒な気がします。

日本化学会 第99春季年会 3月16~19日 甲南大学 岡本キャンパス

参加予約受付中 受付締め切り 2月15日 <https://www.csj.jp/nenkai/99haru/> 【主催】公益社団法人 日本化学会